

(7)急性心筋梗塞の早期リハビリ実施率

分子：分母のうち、入院3日までに心大血管疾患リハビリテーションが開始された患者数

分母：最も医療資源を投入した入院傷病名が急性心筋梗塞で、心大血管疾患リハビリテーションが実施された退院患者数

収集期間： 250床以上 DPC 病院：平成24年4月～平成25年3月

250床未満 DPC 病院：平成24年7月～平成25年3月

一昔前までは心臓病には「安静が一番、運動は危険」が常識でしたが、現在では心臓病には「運動療法が欠かせない」ものとなっています。このリハビリは、運動をすることによって病気でダメージを受けた心臓の機能を回復させることが目的で行われます。運動能力と体力の向上だけではなく、心臓病の再発の予防や死亡率の低下という効果があり、またリハビリを続けることで心臓病の危険因子「高血圧」「高脂血症」「肥満」などの危険度が低下します。逆に、リハビリをしない場合、心臓の機能が低下したままの状態が続いていくことになります。早期にリハビリを開始することによって、心機能の回復に大きな差が出ます。

しかしやみくもに運動をすると心臓への負担が増えて病気が悪化する恐れがあります。そのため心臓の状態に合わせたリハビリが行われます。

指標 18：急性心筋梗塞の早期リハビリ実施率

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	17	3	17.6%
130314757	済生会中央病院	93	57	61.3%
140105122	済生会横浜市東部病院	92	44	47.8%
150120734	済生会新潟第二病院	-	-	0.0%
160115667	済生会富山病院	14	0	0.0%
180118909	福井県済生会病院	26	7	26.9%
251200194	済生会滋賀県病院	41	23	56.1%
271607149	済生会千里病院	51	0	0.0%
272701586	済生会泉尾病院	26	16	61.5%
274205628	済生会茨木病院	-	-	0.0%
274406135	済生会野江病院	-	-	0.0%
279600070	済生会中津病院	36	2	5.6%
338800012	岡山済生会総合病院	-	-	0.0%
343111190	済生会広島病院	-	-	50.0%
380110282	松山病院	12	3	25.0%
380228159	今治病院	17	9	52.9%
401119189	済生会福岡病院	79	55	69.6%
401719020	済生会二日市病院	41	24	58.5%
419810713	唐津病院	21	9	42.9%
428113308	長崎病院	-	-	0.0%
438211911	済生会熊本病院	176	24	13.6%
440411500	日田病院	-	-	14.3%
	合計	768	279	36.3%

指標 18：急性心筋梗塞の早期リハビリ実施率

